平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月6日

上場会社名 ソーダニッカ株式会社　　上場取引所　東
コード番号 8158　URL http://www.sodanikka.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 長洲 崇彦
問合せ先責任者　(役職名) 執行役員経理部門長　(氏名) 安江 正人　TEL 03-3245-1803

四半期報告書提出予定日　平成26年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	74,742	6.1	1,027	4.3	1,155	4.6	703	35.2
25年3月期第3四半期	70,426	△3.4	985	△15.5	1,104	△14.1	520	△23.8

(注)包括利益　26年3月期第3四半期　1,705百万円　(306.7%)　25年3月期第3四半期　419百万円　(91.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	28.18	―
25年3月期第3四半期	20.84	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	55,139	18,297	33.2
25年3月期	51,567	16,918	32.8

(参考)自己資本　26年3月期第3四半期　18,297百万円　25年3月期　16,918百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	6.50	―	6.50	13.00
26年3月期	―	6.50	―		
26年3月期(予想)				6.50	13.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	99,000	5.9	1,400	14.9	1,500	12.2	880	15.3	35.27

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
②①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	25,168,000 株	25年3月期	25,168,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	218,814 株	25年3月期	212,674 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	24,952,063 株	25年3月期3Q	24,960,508 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
(1) 経営成績に関する説明 …… 2
(2) 財政状態に関する説明 …… 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3

2.サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3

3.四半期連結財務諸表 …… 4
(1) 四半期連結貸借対照表 …… 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
(継続企業の前提に関する注記) …… 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) …… 8
(セグメント情報等) …… 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府主導による経済・金融政策への期待感やアベノミクスのプラス効果が実体経済に徐々に波及し、着実に景況感の改善が見られ、企業収益や個人消費も緩やかながら回復しつつあります。

当社グループに関係の深い化学工業界におきましては、円安基調に伴う輸出環境の改善は見られたものの、原燃料価格上昇の影響を受け、稼動が上がらず伸び悩みました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、引き続き化学品と機能材の二事業を基軸とする経営を推進するとともに、東アジア地域を中心とした海外取引の拡大と再生可能エネルギー関連資材の販売等、環境関連ビジネスの強化に努めてまいりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の業績は、売上高747億４千２百万円（前年同期比6.1%増)、営業利益10億２千７百万円（同4.3%増)、経常利益11億５千５百万円（同4.6%増)、四半期純利益７億３百万円（同35.2%増）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

【化学品事業】

無機薬品につきましては、主力商品のか性ソーダ及び硫酸は減収となりましたが、脱硫用途の水酸化マグネシウム及び製紙向けのクロレートは増収となりました。官公庁向けの活性炭は増収となりましたが、水処理薬剤のポリ塩化アルミニウムは減収となりました。また、電池材料のマンガン化合物及びメッキ向けシアン化合物は増収となりました。

有機薬品につきましては、製紙用ラテックス、エチレングリコール及び機能性溶剤は増収となりましたが、建築用シリコーン及び製紙向けの加工でんぷん類は減収となりました。

この結果、化学品事業といたしましては、売上高は前年同期に比べ0.3%減の506億８千万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期に比べ3.2%増の17億７千万円となりました。

【機能材事業】

合成樹脂につきましては、ポリプロピレン樹脂は増収となりましたが、工業用製品はメーカー撤退が要因となり減収となりました。

また、フィルム類につきましてはポリプロピレン、ポリエチレン及びナイロンフィルムが増収となりました。

機器類につきましては、太陽光パネル等の電気関連機器は大幅に増収となりましたが、包装関連機器及び回転機器は減収となりました。

その他の資材につきましては、住宅向け地盤改良用のグラウト材料及び飛灰用のキレート剤は復興需要もあり増収となりました。また、北陸新幹線向け成形品は工事の終了もあり減収となりました。

この結果、機能材事業といたしましては、売上高は前年同期に比べ21.9%増の230億１千３百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期に比べ57.2%増の５億４千万円となりました。

【その他事業】

その他事業につきましては、連結子会社の曹達日化商貿(上海)有限公司の増収により、売上高は前年同期に比べ42.1%増の10億４千８百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期に比べ54.7%増の１千４百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

【財政状態の分析】

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ35億7千1百万円増加いたしました。

増減の主なものは資産の部では、受取手形及び売掛金が21億1千5百万円、投資有価証券が14億7千3百万円それぞれ増加いたしました。負債の部では、支払手形及び買掛金が27億7千2百万円、繰延税金負債が5億6千6百万円それぞれ増加し、短期借入金が9億8千万円減少いたしました。純資産の部では、利益剰余金が3億7千8百万円、その他有価証券評価差額金が9億6千2百万円それぞれ増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の日本経済の見通しにつきましては、政府主導による経済・金融政策の実体経済への反映や消費増税に伴う駆け込み需要及び円安基調に伴う輸出の増加が期待される一方で、輸入原材料価格の上昇、新興国における景気の減速など懸念材料が散見されます。

このような事業環境のもと、当社グループは引き続き化学品と機能材の二事業を基軸とする経営を推進するとともに、財務体質の強化と経営の効率化を図り、収益力の向上に向けて邁進する所存でございます。

平成26年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成25年5月9日付公表の数値に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,423	5,224
受取手形及び売掛金	33,738	35,853
商品及び製品	4,426	3,504
繰延税金資産	153	196
その他	160	304
貸倒引当金	△73	△77
流動資産合計	42,828	45,006
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	400	420
土地	1,011	1,011
その他（純額）	73	88
有形固定資産合計	1,484	1,519
無形固定資産	218	194
投資その他の資産		
投資有価証券	6,262	7,735
長期貸付金	47	56
その他	916	687
貸倒引当金	△190	△60
投資その他の資産合計	7,036	8,419
固定資産合計	8,739	10,132
資産合計	51,567	55,139

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,874	28,647
短期借入金	6,000	5,020
未払法人税等	268	213
賞与引当金	235	117
役員賞与引当金	28	31
その他	698	683
流動負債合計	33,104	34,713
固定負債		
繰延税金負債	204	770
再評価に係る繰延税金負債	225	225
退職給付引当金	534	554
その他	581	579
固定負債合計	1,544	2,129
負債合計	34,649	36,842
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,762	3,762
資本剰余金	3,130	3,130
利益剰余金	8,957	9,335
自己株式	△58	△60
株主資本合計	15,791	16,168
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	993	1,956
繰延ヘッジ損益	13	10
土地再評価差額金	116	116
為替換算調整勘定	3	45
その他の包括利益累計額合計	1,126	2,129
純資産合計	16,918	18,297
負債純資産合計	51,567	55,139

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
売上高	70,426	74,742
売上原価	65,758	69,907
売上総利益	4,668	4,834
販売費及び一般管理費	3,682	3,806
営業利益	985	1,027
営業外収益		
受取利息及び配当金	139	144
その他	56	43
営業外収益合計	196	187
営業外費用		
支払利息	59	42
売上割引	7	6
その他	9	11
営業外費用合計	77	60
経常利益	1,104	1,155
特別利益		
投資有価証券売却益	―	16
移転補償金	16	―
特別利益合計	16	16
特別損失		
投資有価証券評価損	168	―
事務所移転費用	6	―
特別損失合計	175	―
税金等調整前四半期純利益	945	1,172
法人税、住民税及び事業税	366	480
法人税等調整額	58	△11
法人税等合計	425	468
少数株主損益調整前四半期純利益	520	703
少数株主利益	―	―
四半期純利益	520	703

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	520	703
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△96	962
繰延ヘッジ損益	15	△2
為替換算調整勘定	△20	42
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	△100	1,002
四半期包括利益	419	1,705
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	419	1,705
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間（自　平成25年4月1日　至　平成25年12月31日）

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間（自　平成25年4月1日　至　平成25年12月31日）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

Ⅰ　前第3四半期連結累計期間（自　平成24年4月1日　至　平成24年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	化学品事業	機能材事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	50,808	18,879	737	70,426	―	70,426
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	309	309	△ 309	―
計	50,808	18,879	1,047	70,735	△ 309	70,426
セグメント利益	1,715	343	9	2,068	△ 1,082	985

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,082百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第3四半期連結累計期間（自　平成25年4月1日　至　平成25年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	化学品事業	機能材事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	50,680	23,013	1,048	74,742	―	74,742
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	531	531	△ 531	―
計	50,680	23,013	1,579	75,273	△ 531	74,742
セグメント利益	1,770	540	14	2,325	△ 1,297	1,027

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,297百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。